

平成26年日本赤十字社診療放射線技師学術総会 プログラム

会場 東京国際フォーラム D5

平成26年 5月23日 (金)

9:15~9:50 受付

9:50~10:00 開会式

開会の辞 日本赤十字社診療放射線技師会会長 清水 文孝 (深谷)

10:00~10:40 本社講演

「日赤病院グループの現在と未来」

日本赤十字社 事業局長 富田 博樹 先生

座長 日本赤十字社診療放射線技師会会長 清水 文孝 (深谷)

10:50~11:30 基調講演

「日赤の原子力災害への取り組み (原子力災害における救護活動マニュアル)」

日本赤十字社 救護・福祉部 災害対策企画室長 山澤 将人 先生

座長 日本赤十字社診療放射線技師会 災害医療支援部 駒井 一洋 (名古屋第二)

11:30~11:50 日本赤十字社診療放射線技師会 災害医療支援部講演

「原子力災害における診療放射線技師の役割ー災害医療支援部の活動ー」

日本赤十字社診療放射線技師会 災害医療支援部

長浜赤十字病院 松井 久男 先生

12:00~12:50 ランチョンセミナー

座長 小池 克美 (さいたま)

「ドパミントランスポータ SPECT の基礎と臨床」

独立行政法人国立精神・神経医療研究センター

脳病態統合イメージングセンター、センター長

松田 博史 先生

12:50~13:20 休憩

13 : 20～14 : 00 定期総会

14 : 10～15 : 30 特別講演 I

座長 日本赤十字社診療放射線技師会 災害医療支援部 坂井 征一郎 (唐津)

「線量計の管理について」

ー 様々な核種を想定した線量計の選択と測定、個人被ばく線量の記録管理 ー

独立行政法人日本原子力研究開発機構

東海研究開発センター核燃料サイクル工学研究所 放射線管理部

高田 千恵 先生

15:40～16:40 特別講演 II 座長 日本赤十字社診療放射線技師会副会長 戸口 豊宏 (大分)

「福島原発事故の経験から」

東京医療保健大学 教授 伴 信彦 先生

16 : 50～17 : 30 イブニングセミナー

座長 学術部 安彦 茂 (仙台)

放射線遮蔽用ガラス「LXプレミアム」の紹介

電気硝子建材株式会社 機能ガラス販売統括部 統括部長 浅井 喜代志 様

18: 00～

情報交換会

5月24日(土)

9:00 ~ 9:50 研究発表①

座長 河本 勲則 (京都第二)

1. 造影 CBCT におけるステント内腔評価についての検討

伊勢赤十字病院 柴原 卓彦

2. 自施設の胃透視画質向上へのとりくみ

熊本健康管理センター 右田 健治

3. 間接型 FPD 及び FCR における物理特性の比較・検討

松江赤十字病院 伊藤 健

4. 肺動静脈分離 3DCCTA 撮像法の検討

名古屋第一赤十字病院 五十棲 大輝

5. 上肢 MRI 検査における最適なコイルの検討

松山赤十字病院 森中 絵梨

10:00~10:40 研究発表②

座長 小山 登美夫 (長野)

6. 全脊髄に対する強度変調放射線治療の検討

広島赤十字・原爆病院 羽原 幸作

7. Enhanced Dynamic Wedge の検証

大分赤十字病院 足達 奈将

8. 密封小線源治療装置における線源停止位置・時間精度の検証

日本赤十字社和歌山医療センター 井上 賢人

9. 当院での放射線治療でのペースメーカー (PM) 植え込み患者に対する対応について

那須赤十字病院 鈴木 悠

10:50~11:50 研究発表③

座長 西小野 昭人 (熊本)

10. 放射線部門における地域貢献の活動である「放射線安全管理ネットワーク」について

伊勢赤十字病院 林 奈緒子

11. 放射線安全管理ネットワーク「線量最適化の補助」の活動報告

伊勢赤十字病院 松井 沙紀

12. 医用モニタの管理と運用：継続的評価から見えてきたもの

名古屋第二赤十字病院 真野 晃浩

13. 福島赤十字病院におけるホールボディカウンターの現状

福島赤十字病院 佐藤 勝行

14. マンモグラフィ画像カンファレンスの立上げ

～当院における乳腺チーム医療の取り組み～

深谷赤十字病院 坂本 里紗

15. 造影剤腎症の現状について

武蔵野赤十字病院 増島 一貴

12:00~12:50 ランチョンセミナー

座長 小山 登美夫 (長野)

「高精度放射線治療における精度管理」

～サイバーナイフとトモセラピーによる治療の現場から～

がん・感染症センター 都立駒込病院 放射線物理室 木藤 哲史 先生

がん・感染症センター 都立駒込病院 放射線物理室 橋本 慎平 先生

12:50~13:20 休憩

13:20~13:40 日本赤十字社診療放射線技師会の新しくなったHPのご紹介

日本赤十字社診療放射線技師会 情報担当理事 竹安 直行

14:00~15:30 教育講演 座長 日本赤十字社診療放射線技師会副会長 石田 智広 (福井)

「より良い患者対応をめざして」～ホテルの経験と患者さんの声より伝えたいこと～

学校法人 慈恵大学 栗原 重雄 先生

15:40~16:00 表彰式、終了式

第61回 日本赤十字社診療放射線技師会 定期総会 議事録

1. 日 時 : 平成 26 年 5 月 23 日 (金) 13 : 20 ~ 14 : 00
2. 会 場 : 〒100-0005 東京都千代田区丸の内 3-5-1 東京国際フォーラム ホールD-5
3. 出席者 : 日本赤十字社診療放射線技師会会員 132 名
4. 議事録作成人 総務部常任理事 山本 晃司
5. 総会次第

- ① 開会の辞
- ② 会長挨拶
- ③ 表 彰
- ④ 総会議事運営報告
- ⑤ 議長選出
- ⑥ 議事録署名人選出、採決係り任命
- ⑦ 議事

第一号議案	平成 25 年度事業経過報告
第二号議案	平成 25 年度決算報告
第三号議案	平成 25 年度監査報告
第四号議案	平成 26 年度事業計画(案)
第五号議案	平成 26 年度予算 (案)
第六号議案	その他

- ⑧ 議長解任
- ⑨ 閉会の辞

総会次第に基づいて、会式の辞、清水会長の挨拶の後、議事審議へと続いた。

○会員表彰に先立ち、清水会長によって本会名誉会員であらせられる益戸達夫様のご紹介がなされた。表彰式は委員長の正者理事により執り行われ、功労賞 15 名の方々が表彰された。今回は、個人また施設ともに奨励賞の該当者はなかった。

※功労賞 15 名 (順不同・敬称略)

吉田庄左衛門 (秋田赤十字病院)、高橋稔 (那須赤十字病院)、並木荘一 (成田赤十字病院)、水石 紀茂 (津久井赤十字病院)、村松研二 (津久井赤十字病院)、片山典明 (金沢赤十字病院)、山口忠夫 (高山赤十字病院)、古町彰 (高山赤十字病院)、筒井康之 (名古屋第一赤十字病院)、内橋宣尚 (多可赤十字病院)、山田泰司 (神戸赤十字病院)、井澤秀恭 (和歌山医療センター)、小林 一郎 (松江赤十字病院)、古川隆志 (広島赤十字・原爆病院)、水谷宏 (松山赤十字病院)

○総会議事運営報告 (資格審査報告) が事務局の浅妻理事より行われた。

本日の出席者 132名、委任状提出者 1236名、 合計 1368名を確認し、
会則第 20 条の規定に基づき本総会は成立しますと報告された。

○議長選出となる。会場より立候補がないため、執行部より 2 名が推薦された。

議長に、京都第一赤十字病院 平川益三氏、浜松赤十字病院 佐々木昌俊氏。

そして、議長から議事録署名人・採決係りに 4 名が任命され、会場からの拍手をもって全員が承認された。

議事録署名人に、長浜赤十字病院 松井久男氏、神戸赤十字病院 古東正宣氏。

採決質疑記録係に、前橋赤十字病院 柳澤勝美氏、松江赤十字病院 伊藤健氏。

議長、平川益三氏の進行により議事に入った。(第一号議案から第三号議案)

○第一号議案から第三号議案まで一括して執行部より報告。

報告後、質疑応答に入った。

(質問 1：長浜赤十字病院 松井氏)

本会は 1400 人余りの会員がいる大きな組織だが、こういった位置づけ団体なのか？

(回答：清水会長)

日本赤十字社登録団体であるが、公益法人というような団体ではない。一つの職域団体と考え法人化は考えていない。

(回答を受けて：長浜赤十字病院 松井氏)

日本赤十字社診療放射線技師会が登録団体であるのならば、日赤技師がすべて参加（入会）するのが当然で、その働きかけをして頂きたい。

(回答：組織調査 正者理事)

H25 年 12 月現在、日赤全技師数 1468 名で本会の会員数は 1397 名。

(回答：清水会長)

本会の組織率は 95%程度であるが、今後も入会について努力して行く

(質問 2：長浜赤十字病院 松井氏)

総務部の活動報告の中に、定期総会と理事会の設定及び議事録の作成というのがあるが、会員にとって大事な情報源である、この議事録は公開されているのか？

(回答：清水会長)

議事録についてはホームページに掲載していたと思っていたが、私の認識不足で役員間だけの閲覧であった。今年度より議事録は全てホームページに掲載する考えである。

(質問 3：長浜赤十字病院 松井氏)

財務の平成 25 年度一般会計決算報告で、学術研修会費収入で学会に 126 名が参加し 100 万いくらかのお金が計上されている。そこから学術研修会費として約 157 万円が使われているが、その内訳

の会場費 57 万円は 2 日間通しての金額なのか？もしそうならば、この会場費を差し引いた残り 100 万円はどういった物に使われたのか？

(回答：清水会長)

会場費については 2 日間で 57 万円、その他備品類また情報交換会それら総会に掛かる全ての費用を一括計上し、総額 157 万円の学術研修会費となっている。

(回答を受けての質問：長浜赤十字病院 松井氏)

そうすると情報交換会会場費は別にあるのか？

(回答：清水会長)

会員の皆様に情報交換会会費として 2000 円を頂いているが、学術総会及び情報交換会費用等の全てを含め、支出が 157 万円となっている。これらは、学術研修会費と別途会計ではというご指摘ならば今後改めたい。

(要望：名古屋第二赤十字病院 真野氏)

今回ホームページがリニューアルされるとの事だが、現在、停滞している情報の伝達、発信をお願いしたい。

(回答：清水会長)

情報の発信は勿論だが、それ以外にも 1400 人の会員が情報をやり取りできる SNS、またグループウェアを実装しており、会員の皆様に新しいホームページを利用して頂くことによって技師会の活性化に繋げて行きたい。

質疑応答後、議長の進行により挙手で採決に入った。

※第一号議案の採決結果(否決 0、保留 2、賛成 130)。第一号議案は賛成多数で可決された。

委任状を換算(否決 0、保留 25、賛成 1343)

※第二号議案の採決結果(否決 0、保留 2、賛成 130)。第二号議案は賛成多数で可決された。

委任状を換算(否決 0、保留 25、賛成 1343)

※第三号議案の採決結果(否決 0、保留 0、賛成 132)。第三号議案は賛成多数で可決された。

委任状を換算(否決 0、保留 0、賛成 1368)

議長を佐々木昌俊氏に交代し議事を進めた。(第四号議案から第六号議案)

○第四号議案から第五号議案まで一括して執行部より報告。

報告後、質疑応答に入った。

(質問 1：大津赤十字病院 津田氏)

平成 25 年度決算報告にはあった学術研修会会場費 57 万円が、今年度は予算計上されていないが。ホームページ運営管理費 (WEB 構築費) で昨年度も余っていたが、今年度も予算案で余分に計上されているのはなぜか？

(回答：財務 前川理事)

先に WEB 構築費に関してお答えしたい。昨年度と今年度をまたいで事業となるので、最終的に構築全てに必要となる費用を今年度も予算として計上している。

今年度、学会会場費 57 万円が計上されていないのは、東京国際フォーラムに支払う会場予約金が、開催の当該年度 4 月以降（来年は H27.4 月以降）の支払いでよくなったからである。

(要望：長浜赤十字病院 松井氏)

ブロック活動費が 1 ブロック 15 万円となっているが、地区を活性化させる為に値上げをお願いしたい。

(回答：清水会長)

昨年度から今年度に掛けては、ホームページ更新による分割払いもあり、ブロック活動費の値上げは来年度を考えている。

質疑応答後、議長の進行により挙手で採決に入った。

※第四号議案の採決結果(否決 0、保留 0、賛成 132)。第四号議案は賛成多数で可決された。

委任状を換算(否決 0、保留 0、賛成 1368)

※第五号議案の採決結果(否決 0、保留 1、賛成 131)。第五号議案は賛成多数で可決された。

委任状を換算(否決 0、保留 1、賛成 1367)

○第 6 号議案について戸口副会長より報告

報告後、質疑応答に入った。

(会場から質問なし)

※第六号議案の採決結果(否決 0、保留 0、賛成 132)。第六号議案は賛成多数で可決された。

委任状を換算(否決 0、保留 0、賛成 1368)

議長から第六号議案について「日本赤十字社診療放射線技師会会則および基金運用規約、会費納入規約、役員選挙規約について只今をもつての改正となりました。なお、表彰規程、旅費規程、慶弔規程については全国理事会での承認改正となっておりますので、全国理事会開催日であった平成 26 年 4 月 4 日付で改正となりました。」との発言があった。

最後に議長の平川氏から、定期総会において質問審議が十分尽くせるように、開催時間及び時間帯を考えるようにと執行部に対して意見がなされた。

これに対し清水会長は、要望を踏まえ対処するとの考えを述べた。

以上にて、議事を全て終了し議長は解任となり総会は終了となった。

以上

議事の経過概要及びその結果を明確にするため本議事録を作成し、議事録署名人、総会議長は次のおり署名押印する。

平成 26 年 9 月 27 日

議事録署名人

古東 正宣 印

松井 久男 印

総会議長

平川 益三 印

佐々木 昌俊 印

第 50 回日本赤十字社医学会総会

日本赤十字社診療放射線技師会 副会長

大分赤十字病院 戸口 豊宏

平成 26 年 10 月 16 日（木）17 日（金）熊本において、第 50 回日本赤十字社医学会総会が行われました。

メインテーマは、原点を見つめ 世界へ飛翔
～赤十字の果たすべき使命～

診療放射線技師の発表では、一般口演 10 題・ポスター 24 題の発表でした。

一般口演 1 では、国内救援救護活動 I で、名古屋第二赤十字病院の当会災害医療支援部理事であります駒井様が「日本赤十字社と協働する日赤診療放射線技師会の原子力災害への取り組み」と題して発表されました。

次回医学会総会は、北見で行われる予定です。

以上簡単ですが報告いたします。

